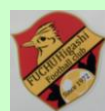


平成28年12月28日

風は東から

To be continued...



代表決定戦は大成高校に敗退 !!
今年最後のTRM&FESで締める!!

新人戦七地区代表決定戦は、力及ばず大成高校 に敗れる !!

早速、次の闘い(インターハイ予選)に向けTRがスタート !!

12月18日(日)、**新人戦代表決定戦**が、明大明治高校グラウンド(人工芝)で行われました。この時期にしてはとても暖かく、ゲームをやるには最高の条件が整いました。一ヶ月以上にも及ぶ長丁場の新人戦(兼関東大会予選)は、コンディションの維持やけが人など、調整が難しい大会ですが、いよいよ大詰め。今日勝って、二年連続で七地区代表を決め都大会に進出したいものです。

対戦相手の**大成高校**は、今大会の**第一シード**であり、現在、**T2リーグに所属**しています。毎年、**都ベスト8**の力は十分兼ね備えているサッカー強豪校で、選手も有名処のジュニアユースチームや中学校選抜から集まり、選手層も厚く、まさに現時点では七地区最強チームであることは間違いありません。東高も大成高校と同じ力のチームと**TRM**を行います。公式戦という真剣勝負の場数ではやはり経験値の分が劣ります。この差を埋めることは、一朝一夕にはいきませんが、この課題解決方法を真剣に考えています。しかし、強豪校と闘える一戦。しかも、公式戦ともなれば、やはり自然と燃えてきます!! 大成高校戦までの一週間は、普段の**TR**をベースに、国立戦でピックアップしたチームと個人の課題についてクリアーする**TR**を行いました。特に、フィニッシュの精度を高めることやプレッシャーの掛け方の共通理解を深める内容に特化しながら、東高の持ち味を活かして、大成高校相手に真っ向から闘える準備をしました。この一週間は、新チームになり、心身ともに一番充実した時間を過ごしました(これを日々継続したいですね)。

この日は、地区代表決定戦が二試合行われるということもあり、明大明治会場は、東高の保護者や三年生を始めたくさんの観客で埋まりました。西が丘や駒沢競技場のような、スタンドやブラスバンドによる大歓声はありませんが、地区代表決定戦に相応しい舞台は整いました。



<強豪校との真剣勝負の積み重ねこそが子どもを成長させる!!>

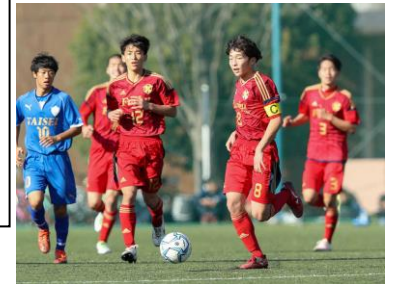
代表決定戦 VS大成高校 キックオフ !!

代表決定戦ということもあり、対戦相手が大成高校ともなれば、モチベーションは自然といつも以上に高まります。W-UP から子どもたちのこのゲームに賭ける気持ちが伝わってきました。そして、今日の一戦が、今年一年間を占う上で大切なゲームであることはお互い良く分かっています。

前の試合が延長そしてPK合戦に連れ込んだものの、子どもたちは集中力を欠かすことなく、キックオフを迎えました。立ち上がりは、お互い探り合いでしたが、前半5分に鈴木涼(2年)からのスルーパスを林田(2年)が抜け出し先制ゴールを叩き込みました。ちょっと、時間帯は早かったのですが、東高が序盤戦で精神的には優位に立ちました。



先制ゴールに歓喜が爆発



そこから一進一退の展開が続きますが、ここで東高に致命的なミスが出ます。前半25分にDFラインの裏に蹴られたボールの処理をGKとDFがお互いに躊躇している間に大成選手に奪われ追い付かれます。その五分後には、ペナルティーエリア外からのミドルシュートのこぼれ球を突かれ逆転されます。前半のうちに追い付きたい東高も攻めますがゴールを奪えず、逆に前半アディショナルタイムにFKから壁の綻びを狙われて失点します。前半を**1-3**で折り返します。

後半、先に一点が欲しい東高は、立ち上がり勝負に出ますが、試合巧者の大成にサイドからドリブルで挟られシュートを決められてしまいます。しかし、東高は最後まで諦めずにゴールを奪いに行きます。後半20分過ぎから大成高校の足が止まり始め、スタミナには自信のある東高が流れを引き寄せチャンスを作ります。そして、後半25分にはゴール前の崩しから、工藤琢(1年)が打ったシュートを最後は重久(2年)が押し込み一点を返します。その後も大成ゴール前に迫りますが結局**2-4**でタイムアップ。「**過信ではなく、自信を持って臨んだ**」今回の新人戦でしたが、残念ながら、二年連続で**都大会への挑戦権**を得ることはできませんでした。

「勝ちに不思議な勝ちあり、負けに不思議な負けなし!!」

代表決定戦で闘った大成高校との差(個のタレントだけで終わらせずに)、敗因を検証して、この冬のTRでどこまで迫れるかが課題です。今回の敗戦を真摯に受け止め、4月下旬から行われるインターハイ予選に繋げていきたいと思います。もう、次の闘いは既にスタートしています!!

